

袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会

そでがうら

第18号

編集発行：袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会
TEL 0438-63-3988 FAX 0438-63-0825

V 連協会だより

新年度を迎えるにあたり

袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会

会長 土屋 則子

袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会は、皆様のご協力のお陰によりましてコロナ禍に注意しながらの創立40周年記念を終えて3年目になりました。

今年度も、社会的な環境変化や高齢化に伴う多くの問題などを考慮しつつ、ボランティアの重要性に改めてボランティア活動に参加できる人を一人でも多く参加していただけるように呼びかけました。社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会が一緒に取り組んでいる「ゆりりのボランティア講座」では、多くの方々に参加を呼びかけ、繋いでいけるように取り組みました。次年度以降もしっかりと目的を伝え、楽しく参加できますよう努めていきたいと思っております。

皆様のご協力に対しまして、心より感謝申し上げますとともに、引き続きご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

令和6年度 役員紹介

会長	土屋 則子
副会長	長/太田 洋子・福原 道子
監事	長/長嶋 忠雄・花田 勝
顧問	問/長嶋 忠雄
総務部長	土屋 則子
企画・研修部長	市瀬 幸子
広報部長	藤村 啓子



我が大道芸の人生 花田 勝

大道芸は、路上において不特定多数の観客に対し芸を演じ投げ銭を得ることで生計を立てる芸を指す。私は、南京玉すだれを芸とし、集会場や老人ホーム、学校、その他小さな集まり等で披露させて頂いています。

南京玉すだれは、日本の大道芸の一つ。歴史ある伝統芸能です。発生については、「日本玉すだれ協会」では、「発祥は富山県の民謡こきりこ節に用いられるささらが原型」としています。孤高の舞台芸術、例えばクラシックバレエ、能、歌舞伎等とは違い、観客の皆さんと一緒に作り上げていく芸です。観客の手拍子と合いの手が全てであると言っています。集まってる皆さんと一緒に体を動かして、大声を飛ばし、笑い転げるのを主としています。昨年十か所で披露させていただきました。今年も頑張りたいと思っています。「尺八」「脳トレ」「手品」も一緒に演じることもあります。



令和6年度 袖V連活動状況

4月16日	第1回運営委員会(総会)
6月22日	令和6年度災害ボランティアセンター運営訓練(主催:袖ヶ浦市社会福祉協議会)
9月26日	地区別(海匝地区)ボランティア研修会(主催:千葉県ボランティア連絡協議会)
10月9日	視察研修(千葉県西部防災センター 他)
12月3日	忘年会
12月15日	第16回袖ヶ浦市地域福祉フェスタ(主催:第16回袖ヶ浦市地域福祉フェスタ実行委員会・袖ヶ浦市社会福祉協議会)
1月29日	地区別(君津地区)ボランティア研修会(主催:千葉県ボランティア連絡協議会)
2月8日	第40回袖ヶ浦市生涯学習推進大会(主催:袖ヶ浦市社会教育委員・袖ヶ浦市教育委員会)
2月14日	研修会「ゆりりのボランティア講座」
3月9日	第26回ボランティアチャリティーショー
3月31日	そでがうらV連協会だより(第18号)発行

地域別(海匝地区) ボランティア研修会

令和6年9月26日(木)

9月26日(木) 旭市保健センター多目的ホールで地域別ボランティア研修会が開催されました。テーマ「次世代へどう繋ぐボランティア」～ボランティア活動の未来～
今や高齢化の波の中でボランティア活動も変革の時を迎えています。ボランティア活動も若年層の参加が少ないのが現実です。学生や若い力を活用し、参加から参画へ、未来に向け次世代へどう繋げたいか考える研修でした。講演会は午前中にあり、東京都健康長寿医療センター研究所森裕樹氏、演題は「地域共生社会に向けたボランティア活動」がテーマでした。とても難しい問題でしたが勉強になりました。午後に活動発表、①匝瑳市「すこしの勇気でみんなが笑顔」②銚子市「ボランティア連絡協議会の活動について」③旭市「語り継ぐいいおかげ津波『まーくんがんばれ!』」
③番の旭市の発表は、訪問したことのある旭市防災資料館にあった東日本大震災の被害パネルを思い出し、心が痛みました。人ごとではありません。いつ来るかわからない地震への対策は、平時から備えていきたいものです。
テーマは重いものでしたが、全編を通し、勉強になるものばかりでした。これからも未来に向けて考えていきたいと思いました。



地域別(君津地区) ボランティア研修会

令和7年1月29日(水)

1月29日(水) 富津市役所1階大会議室で、千葉県ボランティア連絡協議会主催の地域別「君津地区」(君津市・木更津市・富津市・袖ヶ浦市の4市です) ボランティア研修会が開催されました。テーマは「笑顔で楽しくボランティア」～心の健康・笑って健康～です。
午前の部の講演は「心のサプリ」で健康長寿と題し、富津市生活支援コーディネーターフレイルサポーターの佐久間勇氏による講演が行われました。プラス思考になるような、あいうえお作文に漫画を加えてのお話で大変分かりやすく楽しく拝聴しました。智恵と工夫にあふれ、言葉の使い方、受け取り方で「心のサプリ」にもなり、長寿にもなる」とおっしゃっていました。午後の部は活動発表でそれぞれの市が工夫をこらした発表となりました。君津市は「健康体操」、カイトプラクティクの説明もありました。木更津市は「傾聴ボランティア」、富津市は「ふつつんお絵描き音頭」、袖ヶ浦市は「袖ヶ浦音頭と袖ヶ浦音頭II」を披露しました。ここに立つまでに、出演した豊謡会の方々へV連のメンバーが指導を受け練習を積み重ねた成果です。豊謡会の方々ありがとうございました。会場も盛り上がり大成功でした。終始最初のテーマである「笑顔で楽しくボランティア」とあるように、楽しい日を過ごさせていただきました。



企画・研修部 ゆりりのボランティア講座 令和7年2月14日

今年度は、ボランティアに関わる方が多く参加して「社会福祉協議会が取り組む災害ボランティアについて」をテーマに開催しました。
最初に、社会福祉法人千葉県社会福祉協議会地域福祉推進部長 会田肇様より「全国の社会福祉協議会が連携して災害支援を行う仕組みと過去の災害ボランティアセンター運営支援の状況等について」を参加者への質問も交えて講演いただきました。
次に社会福祉法人袖ヶ浦市社会福祉協議会地域福祉係主任 村上孝生様より、「令和6年能登半島地震における災害派遣について」の内容で講演いただきました。お二人ともわかりやすい資料や貴重な現地の写真やスクリーンに投影され、参加者から質問が出るなど中身の濃い講演でした。アンケートにもご協力いただき、その中いくつかをご紹介します。
● テレビでは見ていましたけれど、実際に現地に行かれた方の話が聞けたことはよかったです。
● 災害時に何か協力できれば良いと思いました。
● 災害ボランティアに登録しようと思います。
● 青少年を対象とした「ボランティア講座」も多く開催してほしいと思います。
● ボランティアがどう動くかの話が良かったと思います。
● 地域の強み：人とのつながりが大切。長い支援と忘れない事と思いました。
● 声聞かせていただきありがとうございます。これからも皆様方のお役に立てる企画をしていきます。よろしく申し上げます。



第26回 / ボランティアチャリティーショー

前日からの空模様とは打って変わり晴天の下、3月9日(日)第26回ボランティアチャリティーショーを開催させていただきました。

早朝より多くの方が足を運んでくださり、ありがとうございます。

常日頃ボランティア活動で披露している芸事を会員一同が目にし、ボランティア活動の意識を高める機会にもなりました。

舞台袖では、何度も振りの練習をしたり、緊張のあまり無口になったり、客席からは「いよっ」と掛け声あり。

そして、新しい方々のギター、サックス演奏と、あつと言う間の2時間でした。皆様の善意の志を社会福祉協議会に100,000円寄付させて頂くことができました。

また、会場入口に設置させていただきました「石川県豪雨災害義援金」は全額社会福祉法人石川県共同基金を通じ石川県に28,013円を寄付させていただきました。

皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

ボランティアチャリティーショー



令和6年度ボランティア連絡協議会 視察研修に参加

令和6年10月9日(水) 視察研修(千葉県西部防災センター)

今回の研修は、災害への知識を深め理解することを目的に、松戸市にあります西部防災センターへの見学です。施設に着き職員の方から説明をしていただき、地震・台風火事の時の体験、特に煙が充満した場合、実際に部屋から逃げ出す体験は今まで経験した事がなかったので勉強になりました。今年もこういった体験をさせて頂いて、もし災害にあったならば、想定しどう動いたら良いかと少しでも考える機会を作れたと思います。



雨の中の移動でしたが午後には上がり、東京柴又浅草を巡り楽しい一日を過ごさせていただきました。

令和6年度千葉県社会奉仕賞受賞!!

豊謡会は昭和57年に結成。

毎年、年に3回程度、高齢者施設等を訪問して舞踊を披露しているほか、地区敬老会などの高齢者向けのイベントでも舞踊を披露。また、袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会主催のボランティアチャリティーショーでは、出演者として舞踊を披露するほか、運営スタッフボランティアとしても活動し、市のボランティア活動運営にも積極的に協力し受賞されました。



ボランティア 連絡協議会忘年会

12月3日(火)、昨年から復活した忘年会を開催しました。今年は行事が多かった為、顔を合わせる機会も多く話題が豊富でした。

会長挨拶からは始まり、参加団体・個人ボランティアの方々の活動紹介、そしてビンゴゲーム、アトラクションとして歌・日本舞踊・南京玉すだれ等の披露、飛び入りのカラオケ等を見せていただきました。最後は全員で「袖ヶ浦音頭と袖ヶ浦音頭II」の踊りです。これは1月富津市で開かれた研修会の活動発表で披露するための練習でもありました。踊りをされている方々に教えてもらいながら何回も繰り返しました。来年に備える良い時を過ごすことができました。



第16回袖ヶ浦市地域福祉フェスタ

12月10日(日)第16回地域福祉フェスタが平岡交流センターで開催されました。今年も市内の福祉団体や、社会福祉施設のPRブースコーナーや体験ブース、模擬店も立ち並び大人から子供まで楽しめるようになっていました。活動発表では、東光会の方が踊りの発表をされました。表彰式典では、袖ヶ浦市社会福祉協議会会長感謝状を袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会がいただきました。

当日は644名の市民の皆様が来場され福祉にふれる有意義な一日となりました。



編集後記

V連協会だより第18号をお届けいたします。新型コロナウイルス感染症が緩やかになった2年目です。今年は様々な行事が活発に行われました。大変忙しい一年だったと思います。すべての活動の記事は載せられませんが、V連の活動の様子がお伝えできればと思います掲載しました。ご寄稿くださった方々に感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

広報部

袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会 加盟団体一覧

1 明るい社会づくりかずさ委員会袖ヶ浦	10 ボランティアグループ「つばさ」
2 袖ヶ浦高校ボランティア同好会	11 ベイスタイルフラ
3 豊謡会	12 手話ダンス「虹」
4 椎の木グループ	13 おもちゃ病院袖ヶ浦
5 絲友会	14 NPO法人袖ヶ浦げんきか〜い
6 NPO法人袖ヶ浦ふれあい	15 日常生活支援そでふれ
7 ハツ手G	16 金田会
8 手話サークル「めだかの会」	17 長嶋忠雄(個人ボランティア)
9 東光会	18 花田勝(個人ボランティア)